

堺区 区域まちづくり事業 効果検証シート

事業名称		実施主体			
堺区自転車スタート推進事業		堺区役所企画総務課			
事業目的	事業効果	活動指標	R2	R3	R4
堺区在住の幼児を対象に自転車関連事業を実施し、安全な自転車の乗り方の意識付けを行うと共に、歴史的に自転車にゆかりのある堺区としてのイメージを発信し、シビックプライドの醸成へつなげることを目的とする。	・希望者を対象に3歳児用の交通マナーの啓発チラシを添えて自転車用ヘルメットを郵送で無償配付することで、効率良くヘルメットを供給し、幼少期からのヘルメット着用の意識付けができる。 ・主に堺区在住の3歳児を対象に、はじめての自転車乗り方教室を実施し、安全な自転車利用を促進するとともに、歴史的に自転車にゆかりのある堺区としてのPR効果につながる。	保護者のヘルメットの着用率(%) 【自転車教室のアンケートデータ】	18.8	18.1	
		自転車教室の参加者数(人)	115	221	
①妥当性	②協働の視点	③インパクト	④効率性		
○ 幼少期から堺区と歴史的に関係が深い自転車を身近に感じることを通して、自転車が堺の誇れる資源であることに気づくことで、郷土愛醸成につながる事が期待できる。 本事業を通じて、自転車マナーの向上を図り、安全・安心なまちづくりに寄与することが期待できる。	△ 健診会場での参加者募集や、個人情報の保護の観点から行政が主体となることが望ましいが、ボランティア団体との協働なども検討の余地はある。	○ 3歳児の希望者にヘルメットを郵送配付し、自転車教室を開催することで、安全な自転車利用を促進するとともに、自転車にゆかりのあるまち堺区のPR効果につながっている。	○ 3歳児健診時に、自転車教室の募集や、ヘルメット着用の必要性を保護者に説明することで、効率良く事業を実施し、自転車ヘルメットの着用の意識づけができています。		
⑤自立発展性	総合評価				
— 区がヘルメットを購入し、3歳児へ無償配付し、着用意識の向上に努めている。行政からの無償配付のため、自立発展の可能性は低い。	○ 自転車ヘルメットの無償配付は、6割程の方から申し込みがあり、多くの必要とする方にヘルメットを配付し、着用の意識づけにつなげることができた。 自転車教室の開催数を前年度より1回増やしたが、事前申し込み数は毎回満員で、総参加者数は前年度より100人以上増えている。 教室の参加者が増えている一方で、保護者のヘルメットの着用率は前年度と変わらないため、教室実施時の保護者への啓発方法や開催回数の再考を検討する。				
今後の方向性(課題、改善提案等)					
拡充 継続 見直し 廃止	ヘルメットの配付申し込みや、自転車教室への参加希望者が多いことから、次年度もヘルメット配付と、自転車教室を引き続き実施する。 ヘルメットの配付方法は、さらなる着用率の向上に向けて、今年度の郵送配付からの変更を検討する。 自転車教室は教室の開催数を増やし、より多くの3歳児とその保護者に安全な自転車利用を促進する。				